

# new new century new cinema vol.3 new cinema

パラジャーノフやソクーロフにもしばしば言及されているアレクサンドル・レクヴィアシュヴィリは、日本未紹介だがイオセリアーニ以後を代表するグルジアの映画作家である。北西部ラシャ山脈の2つの村の日々の暮らしを撮影した5年ぶりのこの新作は、農作業、食事、折り、葬儀、屠殺、踊りといったありふれた行為をほとんど言葉を用いて徹底的に「活劇化」し、それに伴う音を「物質化」し露呈させる驚くべき「反情報」の映画である。

2007年9月19日(木)

18:00～上映「The Last」(68分)

19:30～講演：赤坂大輔(映画批評家)

入れ替えなし

英語字幕付



アレクサンドル・レクヴィアシュヴィリ

Alexandre Rakhvashvili

1938年1月17日生まれ。モスクワ映画大学(VGIK)で撮影・監督の両コースに学ぶ。1978年「19世紀グルジア年代記」で長編デビュー。グルジアフィルムで1982年「解り道」、1986年「ステップ」、1989年「接近」を製作、国際的に注目される。ソ連崩壊後はソ連からのイスラエル移民を扱ったファウンド・フッテージ作品「約束の地 帰還」(1999)等がある。

## The Last Ukanaskneli 2006(68分) ヴィデオ作品

監督 Director	アレクサンドル・レクヴィアシュヴィリ Alexandre Rakhvashvili
脚本 Script	ラチ・レクヴィアシュヴィリ Lali Rakhvashvili アレクサンドル・レクヴィアシュヴィリ Alexandre Rakhvashvili
撮影 Camera	バクタ・ケレセリゼ Baktas Kereselidze
音楽 Music	ニアズ・ダアヌーゼ Niaz Dsanidze
美術監督 Art Director	ニノ・レクヴィアシュヴィリ Nino Rakhvashvili
編集 Editing	サバ・アムレグゼ Saba Amiregbi
製作 Producer	インガ・カライア Inga Karalia

グルジア北西部のラシャ地方の2つの村、ゲビとシオラは山中で外界からほとんど閉ざされ、若者たちは都会に移住し、老いた人々が厳しい状況の中で生活している。映画は日々営みを追う。



料金

一般=1200円

アテネ・フランセ文化センター会員=1000円

※アテネ・フランセ文化センター会員入会をご希望の方は登録が必要になります(当日入会可)。

登録料：一般=1500円/アテネ・フランセ学生1000円(2008年8月まで有効)

主催

new century new cinema <http://www.noncine.com/>

協力

グルジア文化省 在日グルジア大使館 アテネ・フランセ文化センター

会場&お問い合わせ

**アテネ・フランセ文化センター**

東京都千代田区神田駿河台2-11

アテネ・フランセ4F

JR/地下鉄 御茶ノ水・水道橋駅徒歩7分

TEL 03-3291-4339(13:00-20:00)

[www.athenee.net/culturalcenter](http://www.athenee.net/culturalcenter)

